

猛暑の中、毎日湯遊びを楽しんだあり組の子どもたち。始めは水着に着替える事から、シャワーにも、ビニールプールにも戸惑う姿がありましたが、一人ひとりのペースで湯の感触に親しみ、楽しめるようになりました。室内遊びでは型はめや、ポットン落とし、棒さし等を用意すると、興味を持った玩具を触ったり見つめたり、舐めてみようとする等、かわいい「玩具研究」が始まります。興味を示した玩具は徐々に指先を使い、じっくりと遊ぶ姿が見られています。湯遊びや室内遊びなど毎日の繰り返しの中にも日々、発見があるようです。

しばらくは残暑が厳しいと予想されますが、過ごしやすい気候になったら靴を履き、帽子をかぶって園庭で遊ぶ機会を持ちたいと思います。また、ゆったりとした雰囲気を心がけ、一人ひとりとの関わりを大切に過ごしていきたいと思います。

今年の夏も猛暑が続いていますが、子どもたちは湯遊びを楽しみ、とても気持ちよさそうにしています。

湯遊びが始まった頃はプールの中に入るのが怖かったり、顔に水がかかるのを嫌がったりしていた子どもたちもすっかりお気に入りのおもちゃで遊んだり、水しぶきを上げて楽しむ姿が見られます。湯遊びは9月4日（金）まで行う予定です。

今月は園庭で巧技台やミニフープ、室内でもマットやトンネル、バランスストーンなどを使って身体を動かす遊びを思いきり楽しむ予定にしています。また、秋の自然を子どもたちと一緒に見つけたり、虫の声を聞いたりしながら、神さまの愛の中ゆったりと過ごしたいと思います。

7、8月は暑い日が続いていますが、子どもたちはプール遊びを楽しみ、暑さに負けず、毎日元気に過ごしています。

片栗粉や寒天、指絵の具を使った遊びでは、「どろどろ〜！」「つめたーい！」と様々な感触を手のひらや指先で楽しむことができました。そして、この夏のもうひとつの楽しみはミニトマトの栽培です。日に日に赤くなっていくミニトマトを見て、「もう食べられるの？」「まだすっぱいの？」等、収穫を楽しみにしていました。収穫したミニトマトは給食の先生が調理して、給食のスープに入れてくれました。スープの中のトマトを探して「あ！！トマトあった！」と言って、その日の給食はトマト探しで盛り上がっていました。沢山のミニトマトを収穫することができたのはりす組の子どもたちのトマトへの思いが実ったからかもしれませんね。

今月は虫の観察を楽しんだり、木の実を探したりしながら夏から秋への季節の移り変わりを感じたいと思います。また、巧技台を使って色々な運動遊びを楽しんだり、ゴールを目指してかけっこ遊びをしたり、全身を使っていろいろな遊びを園庭で元気いっぱいしていきたいと思います。

園で初めてAくんが歩いたとき、近くで見ていた保育者、実習生から拍手がおこりました。それを見ていた歩き始めのBくんも数歩、歩く姿を見せ“僕もできる！”と言っているようでした。喜びの雰囲気、他の子どもたちも拍手をしたり、“こうやって歩くのよ”と言わんばかりに歩く姿を見せたりと大盛り上がりでした！！

湯あそびのおもちゃに金魚すくいの紫色のポイがあり、持ち手をツノに見立て、2つ重ねて持ち、「バイキンマン」と喜んだAくん。それを見たBちゃんは、ピンクのポイを持って「ドキンちゃん」と嬉しそうにしていました。子どもたちの発見や発想に改めて感心しました。

ジョーロで遊ぶAちゃん。ミニトマトに水をやる時のように「おおきくな〜れ」と元気のいい声掛けをしながら足に水をかけていました。

「おおきくなったかなあ？」と、自分の足をまじまじと見ながら呟く姿に大きくなるのを期待しているようで、微笑ましかったです。